

主催 医療観察法と被害者の会
(通称:がじゅもりの会)

～わたしたちの声は届いているのか～
第5次犯罪被害者等基本計画に見る医療観察事件被害者の支援

第3回 医療観察事件における 被害者の関与と 情報へのアクセスを 考えるシンポジウム

YouTube
配信します

6/17当日
同時配信
(申込不要)



* アーカイブ動画配信は
シンポジウム終了後、
2～3日後から
期間限定公開予定です。
Webサイトをご確認ください



2026年
6/17 水
17:30～20:00

会場 日本弁護士連合会東京弁護士会講堂クレオB・C
〒100-0013 東京都千代田区霞ヶ関1-1-3 弁護士会館2階
東京メトロ霞ヶ関駅 B1b出口直通 B1a出口すぐ

定員 100名

お申込 会場参加希望の方は事前登録が必要です。
右フォームよりご登録ください。
※当日受付で参加名簿にお名前があるか確認いたします。
あらかじめご了承ください。



プログラム

17:00 開場



- 17:30 開会挨拶
- 17:40 「医療観察制度における被害者の支援」
太田 達也 氏(慶應義塾大学法学部教授)
- 18:30 「『第三者の被害者や遺族に対する情報提供の実施状況及び
その心情等聴取・伝達制度の導入に関するアンケート
(指定入院医療機関職員対象)』の結果発表・分析」
医療観察法と被害者の会 看護師 塩谷 幸祐(東京医療学院大学)
弁護士 濱口 文歌(京橋法律事務所)
- 19:10 休憩
- 19:20 会員企画「届け、被害者の声」
- 20:00 閉会(予定)

問い合わせ先

iryokansatsugaju@gmail.com
ホームページからもお問い合わせいただけます。



赤い羽根福祉基金 特別プログラム
「被害者やその家族等への支援活動助成」